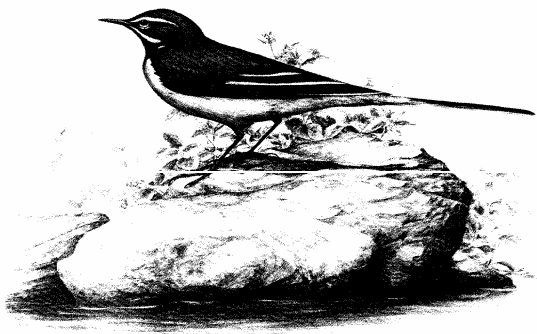


2004 . 10 No. 11

いしたたき



ー イシタタキ ー

この鳥は主に河川周辺に棲んでいて、いつも尻尾を上下に振るので「イシタタキ」と呼ばれるのです。正確には、セキレイ科の鳥です。日田では普通、ハクセキレイ・セグロセキレイ・キセキレイの3種類が見られます。それぞれ、体の色で区別しています。このうち市内で周年見られるのはセグロセキレイとキセキレイですので、「イシタタキ」とは、この2種類をさすことばです。

国土交通省九州整備局長 岡山和生 殿

すいきょう ひ た

水郷日田の復活をめざして（要望書）

私たちの住む日田市は「水郷（すいきょう）」の名で親しまれ、街を流れる三隈川を代表として幾多の川とともに、歴史・文化を築き、産業・経済の発展を遂げてきました。しかし、高度の経済発展により生活様式も変わり、知らず知らずのうちに、私たちの意識や生活は川から遠ざかっていき、気がつくと、水量は減り、水質も汚く水辺の環境も昔とは変わり果てた川になっていました。

ところが、平成9年の河川法改正により環境と住民の意見を取り入れる政策になり、国をはじめとする行政の積極的な政策のおかげで、河川環境や住民の意識はずいぶん向上してきました。

また、私たち住民においても、平成10年以来の水量増加運動や日田の川づくり計画の策定以来、川を考える機会が数多く設けられるようになり、その時々において日田の川に関する意見が活発に述べられてきました。

その結果、水量増加に関しては国や各方面のご理解により大きく前進し、また川づく



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。





りにおいても自然に配慮した工事が行われるようになり、「台霧の瀬づくり」では官・民の協力できわめてユニークな施設が実現する等、顕著な進展が見られるようになりました。

今回の筑後川整備計画策定を機会に、私たちの「水郷日田」が復活し、その「日田らしさ」を軸に地域の活性化を図り、より充実した「水郷（すいきょう）」を未来に残すため、これまでの意見を集約しここに要望するものです。

是非、日田市民の熱い思いをご理解のうえ、早期に実現いただきますようお願い申し上げます。

記

1、 夜明ダムの撤去

夜明ダムには魚道も舟通しもなく、昭和29年の建設以来、筑後川の機能を完全にさえぎっています。この撤去により自然河川のあらゆる機能を回復し、特に魚類の自然回遊を取り戻し、天然鮎の復活と現在水没している金山の岩などダム上流兩岸の岩の景観を復活させることができます。

2、 日田の川づくり計画（平成11年3月）の実現

① 庄手川全域の多自然化

庄手川の低水路部分は兩岸をコンクリートブロックで覆われ、単調な水路と化した無機質で危険な川となっています。住宅地を通り、適度な川幅と豊富な水量を持つ川だけに、親水性や生態系にも配慮した多自然化が急務で、完成後は、昔の川を取り戻すモデルとしてその重要性を顕著に表現でき、住民のモラル向上に大きな効果を望むことができます。

② 三隈堰（固定堰）の全面改修による一部可動化と遊び場としての堰づくり

三隈堰は、三隈川の景観として特に印象深いところで人々に親しまれる反面、上流部分の土砂の堆積やヘドロ化により遊船などの観光拠点である水域の水質悪化の原因ともなっています。景観を大きく変えないこと、自然に近づくことを基本に、一部の可動化により浚渫の軽減と水質の向上をはかり、全体を魚道としての機能を持たせたいうえで滝すべり魚獲りなど自然の遊び場としての堰づくりを行い、川の機能と景観及び遊びの空間としての原風景を復活することができます。

③ 周回遊歩道の建設

可能な限り、川岸や堤防には遊歩道を連続させ、市民が川に抵抗なくアクセスできる環境・施設を整備する。特に、中ノ島、三隈川中流域、上流域及び庄手川全体の地



域は、水郷日田の中心的ゾーンであり、ここを周遊する一連の遊歩道を建設し、あわせて堤防から河川敷に降りるスロープ等のアクセスを増やし、さらに木陰やベンチなどの休憩施設を整備することで、より多くの人々が川に親しむ広域で特徴的なゾーンを創り出す事ができます。

3、 本流の水質改善事業

日田地域を流れる筑後川の水質はA類型にあり一般的に良好であるとされています。ただ、水郷日田の住民にとってのきれいな川とは程遠く到底満足できるものではありません。地元でも下水道や合併処理槽の普及、事業者や生活者のモラル向上には努力を重ねているところですが、やはり、松原・下釜のダム湖による水質の悪化や、高瀬川ダムの構造上の問題で上流の清流が三隈川に流れないこと、同じようなことが予想される建設中の大山ダム等が、将来にかけて水質を悪化させる大きな原因と考えられます。水質浄化装置や清流バイパスなどの施設整備、さらに防災や保水、二酸化炭素削減など総合的な効果を伴う森林整備など、積極的な水質改善事業を行なうことで、生活面でも、観光資源としても、真の意味で「水郷日田」を復活することができます。

4、 小水力発電の利用

小規模な水力発電は河川環境に与える影響も小さく、自然エネルギーのひとつとして、筑後川水系においても積極的に開発をすすめる必要があります。特に庄手川は「平成 13 年度日田市地域新エネルギービジョン」において、市内の候補地の中でも小水力発電の潜在可能性がもっとも高いとの試算結果が示され、その具体化が期待されています。このように筑後川水系において、小水力発電の計画がなされる場合、河川管理者としてその導入が可能となるよう積極的なご配慮をお願いします。

5、 水量の増加

平成 12 年 3 月の柳又発電所、翌年の松原発電所の水利権更新に伴い、大山川の水量増加が実現し、以前と比べはるかに河川環境が良くなったことに住民一同喜んでおります。ただ、当時の要望である「自然流量の半分以上は河川に戻す」は、自然の中で生きる人間にとって大事な原則であり、今後も流量を検討できる機会においては常に要望し実現したいと考えます。この実現により、河川環境、昔の川、人と川との共生などが多くのもを取り戻せるばかりではなく、社会全体のモラル向上とともに環境にやさしい新エネルギーの開発にもつながります。

6、 環境と景観に配慮した河川管理

治水や利水が主目的の河川工事、水質や水量または環境や景観が主目的の工事など、



将来においてもいろいろな状況での河川管理が行なわれていくものと思われませんが、今後の河川管理のあり方としては、どのような種類の工事であれ、日田の地域文化の根幹である河川の環境と景観の回復・創造を基本理念としていただきたいと思います。このことは、平成9年改正の河川法や、本年公布の景観法の趣旨に沿った河川管理を行なうことであり、その結果、川面を木陰が覆い、魚や生き物が隠れ憩う生命あふれる河川環境を創造し、市民みんなが望む「水郷日田」を実現することができます。

以上

平成16年10月 日

日田の川を考える会

会 長 佐藤 忠蔵

特定非営利活動法人 ひた水環境ネットワークセンター

理事長 諫本 憲司



平成版・竹取物語 《 竹の景色を見直そう その 2 》

NPO ひた水環境ネットワークセンター理事
森林インストラクター 財 津 忠 幸

ひた市民環境会議ワーキング「水と森部会」では、侵入してきた孟宗竹によって破壊が進んでいる市内岳林寺の広葉樹保存樹（林）を、何とか救いたいとみんなで真剣に取り組んでいます。そうしたこともあって、いしたたき第 8 号（2004・3 月）での「日田盆地 竹の景色を見直そう」の続編を掲載し、みんなで竹問題を考えてみたいと思います。

1. 竹林が森林を破壊している

- ① 森林は、草や枯れ枝葉、動物の死骸などの腐敗による肥料分（自己施肥）によって、養分の多いフワフワスポンジの森林土壌で成り立っている。その空隙によって、水を貯留する「保水力」を作っている。反対に、竹の葉は腐りにくいために柔らかい土壌が育ちにくい。
- ② 一つの根でつながるネットワークを形成する竹の根は、その成長も養分吸収も驚異的で、圧倒的な繁殖力によって次第に地中を占領していく。
- ③ 竹やタケノコが利用されないで過密になった竹林の根が、足りない養分を求めて隣のスギ林や果樹、畑に侵入する。
- ④ その結果、杉林の地中では、水や養分の奪い合いの戦争が始まり、単木の杉の根は圧迫されて成長が妨げられる。更に過密となった森林は、時間と共にその土壌を破壊し、保水力は徐々に落ちていく。
- ⑤ また、杉の上に伸びた竹は太陽光線を遮って光合成を妨げる。その結果、何十年も手入れをして育ててきた杉や果樹がダメになる。

2. なぜ大切な資源だった竹林がそんなに凶暴になったのか

- ① 確かに昔から竹は生活とつながって、里山といわれる比較的近いところに多く植えられてきた。
 - (1) ザル、箸など生活の道具、(2) あら壁や天井などの建築資材 (3) 農業、土木、（土止め）(4) 梁、魚取りのウケ籠などの多くの資材として生活に密着していた。
 - (5) タケノコは厳しい食糧難の中で貴重な食料品
 - (6) 「竹山は山崩れしない」。これは竹の根が一つの根で全部つながっていることから、急斜面の地滑り防止として植えられた。
- ※ 杉の筏が筑後川を下る随分前（1690 年頃）に竹の筏が下されたと記録にあるように昔より竹は多くの需要があった。つい最近まで、遠くから竹買いの人が日田まで買い付けに来ていた。
- ② 使われて竹が必要な時代は、「竹林内を傘を差して歩ける位に残せ」と言われた。そうして本数が少なく、まばらに残された竹は、その根も養分が足りずに外に侵攻しなくても、竹林内で十分だった。



- ③ 山の手入れや竹の採取、タケノコ採りで利用していた時代は、絶えず人が山に入り、杉林への侵入を止めていた。
- ④ また、外材、低価格、山村過疎化による林業の衰退。林業労働者の高齢化。森林所有の後継者不足。・・・などから竹林も、隣接の杉林も放置されて、現在の状況を作った。日本の里山風景が変わっている。

3. 九州の他地区、また全国では

- ① さる7月6日・福岡県の瀬高町で矢部川流域14の市町村長が集まりまして、この問題で「矢部川流域サミット」を開催し、そこでは、森林や、果樹園、畑などに侵入してきた竹をどうしたら除去出来るかが、熱心に議論されました。
- ② 各県も国も、今ようやくこのことを問題として取り組みを始めたばかりです。

4. 森林ボランティアの試みは

- ① 福岡市の「はかた夢松原の会」が、毎年森林整備を行っている「森の大学」
◇ 7月25日（日）下関大学と九大生30名が参加し、大山町の杉林に侵入してきた孟宗竹を伐採、整理を行った。その竹は、福岡市の「もしもし地球クラブ」の小学生が川遊びを体験する「竹の筏」を作成した。
- ② ひた市民環境会議ワーキング「森と水の部会」
◇ 11月6日（土）に市内岳林寺の日田市指定の保存樹(林)に侵入している竹の伐採。

5. どうすれば竹林を絶滅できるか

- ① 完全に絶やして森林を守るか、竹林を整備するのかのいずれかを明確にし、絶対に放置しない。場合によっては、周囲に根の侵入を防ぐ穴などの防護策を講じる。
- ② 将来に禍根を残さないためには、やはり竹の全域伐採が最も効果的。
伐った竹は、林地に棚状に積んで置く。持ち出せばその後の処理も手間がいる。
- ③ ボランティア活用による、竹材の無料配布や竹製品作り、竹炭作りなどの利用面からも呼びかけを行う。
- ④ 翌年からは、柔らかい竹なので鎌でも切れる。出来れば、タケノコの時よりも養分を上に乗って竹になったものを切る。ただし、小さい笹も含めて残さずに完全に伐ることが大事。
- ⑤ そのことを3～4年続ければ、ほぼ絶滅する。（薬剤は問題あり）

5. 山林所有者

- ① このまま放置をすれば、杉もダメ、保水力にも影響がある。最終的には所有者の理解がないと進まない。
- ② 跡が裸地に成った箇所は広葉樹林に育てる。
- ③ その転換、あるいは森林の健全育成に助成措置がなければ進まないことから、具体的な支援策をつくることが重要。

日田盆地を取り巻く台地の山々は、森林田園都市にふさわしい緑のカーテンとなって人々の心を癒してくれます。しかし、注意して見ると知らないうちにいつの間にか竹の景色に変わっています。風光明媚な日田の里にするには多くの人の理解と協力が必要です。



ひた市民環境会議
「水と森部会」で
の、岳林寺裏の市
指定保存樹林調査
のようす。



広葉樹林にとどまらず周辺
の杉林にも侵攻し
猛威を振う孟宗竹のようす



まわりの竹の勢いに押され
て、日光をさえぎられよう
としている広葉樹を見上げ
ている部会員のようす。



侵入被害による

「保存樹林の竹伐採作業」のお知らせ

ひた市民環境会議・水と森部会 部長 藤田公昭

日田市環境基本計画の策定ののち、行動へと結びつけるワーキング会議として、平成13年12月に「ひた市民環境会議」が発足しました。

それぞれ、エネルギー・まち景観・水と森・ごみリサイクルの4つの部会に分かれています。私が担当する「水と森部会」では、以前は日田地域にも自然林として身近に存在した、亀山公園に代表される広葉樹のどんぐりの植樹苗の育成や6月には市内全域のホタルの飛来調査、市内各河川モニター設置による河川報告や「水郷ひた環境百選」の選定などを行なっています。

今年度の新たな取り組みとして、「郷土日田の自然調査会」の日田市東部地区の報告により注目されるようになった、山林の竹問題への取り組みがあげられます。竹林の現状報告は今号でも取り上

げていますので省略しますが、「水と森部会」では、孟宗竹の侵入で被害が懸念され、日田市が指定している保存樹林である市内光岡地区の岳林寺裏山をモデル地区として、竹林問題を考えていくことになりました。

この問題は、竹の伐採作業を通して、竹による森林破壊から里山を守り、健全な山に戻していこうとする活動を、竹工芸や竹炭生産者の竹製品の普及に努める方々との竹の利活用の連携や、地域や学校での筏体験や竹細工・竹楽器による教育及び啓蒙、観光資源としての町並みの景観やお祭りでの利活用へと結びつけていき、考えていかなければならないことではないかと思えます。

下記の日程で行なう竹林伐採作業へのご協力をよろしくお願い致します。

記

日時：平成16年11月6日(土) 9:00～12:00

場所：岳林寺（日田市北友田・光岡小学校近くの三差路信号前）

伐採した竹は、適当な長さ（1～2Mほど）に切り出します。

竹コップ・竹花瓶・竹楽器・貯金箱・竹植木鉢・門松・生垣・竹灯籠などに利用したい方は、無料で配布いたしますので、自由にお持ち帰りください。

（参加者には、竹炭も差し上げます。）





賛助会員一覧

広報誌「いしたたき」の発行は、主に賛助会員の皆様のご支援により行われています。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 青柳インテリア(株) | 田中建設(株) |
| 広告制作プロダクション(有)アドゲイツ | (株)谷組 |
| (有)イサモト土地企画設計 | (株)トライ・ウッド |
| (株)諫山工務所 | 社会福祉法人地の塩会 ひかり保育園 |
| 石井保険事務所 | 社会福祉法人地の塩会 日の隈保育所 |
| (有)石田工作所 | (株)千原工務店 |
| 井上社会保険労務士事務所 | (有)千原電気事業所 |
| (株)インテリア春 | (有)中央印刷 |
| (有)M&T山本 | 中央ビル管理(株) |
| 老松酒造(株) | (有)光岡興業 |
| (有)オガウチ経営サポート | (株)トーケイ |
| (有)小笠原組 | (株)中野組 |
| (有)小関麻袋商店 | 五 中野製材所 |
| (有)カードクター・フカミ | (株)ナンブ木材流通 |
| 角の井 (株)井上酒造 | (有)羽衣 |
| (有)梶原鉄筋 | (有)原田保険事務所 |
| カネサダ横尾木工(有) | (株)光会館 |
| 日田ビジネスホテル カネセン | 特別養護老人ホーム 日田園 |
| 河津建設(株) | 日田漁業協同組合 |
| 川原興業(株) | 日田郡森林組合 |
| やすらぎと味の宿 亀山亭ホテル | 日田市管工事協同組合 |
| (株)九州木材市場 | 日田市森林組合 |
| 九物食品工業(株) | 日田自動車工業(株) |
| グリーンコープ生協おおいた日田センター | (株)日田スレート建材 |
| クンチョウ酒造(株) | (株)日田中央木材市場 |
| COOPひた | (株)日田ビル管理センター |
| (有)コウエイ | 日田部品 |
| (有)五島工芸 | 日田木材市場(株) |
| 旅館 小松軒 | 日田木材協同組合 |
| 医療法人藤和会 近藤歯科 | 不二水道(株) |
| 坂本機械 | 弥 (有)藤田製材所 |
| ㊦ 佐藤製材所(株) | ホテル ソシア |
| 湯遊びと舟遊びの宿 山陽館 | (有)丸記屋 |
| J A 大分ひた農業協同組合 | 三隈川観光開発(株) |
| (有)下徳産業 | 小京都の湯 みくまホテル |
| 医療法人聖陵会 聖陵岩里病院 | みどりパン |
| 瀬戸製材(株) | (株)ユウキ木産 |
| (株)大日 | 日田の宿 よろづや |
| (有)高倉スレート工業 | リバーサイドホテル 山水館 |
| (有)高橋三男商店 | 若美家 |
| (有)寶屋 | |
| 武内歯科医院 | |

(50音順)



◇ 花月川の整備計画について ◇

冒頭にある、筑後川整備計画策定における要望書（案）では、水郷日田の特に本流の三隈川を中心につくられているように感じられますが、現在花月川では、城町橋から御幸橋下流にかけての豆田地区の観光客から一望できる区間の整備計画が、行政（国交省・県・市）・地元自治体・関係団体を中心に進められ、今年度中に工事が行われる予定になっています。

計画が進められている区間は、「水郷ひた」を代表する観光名所のひとつで、観光客をはじめ散歩を楽しむ住民に、水辺を身近に感じられるように整備が進められる予定です。

この内容は、次号の「いしたたき」第12号において、完成イメージ図と合わせて、豆田の町並みについて掲載しお知らせ致します。

事務局よりお知らせ

会 員 ・ 賛 助 会 員 ・ 大 募 集

当センターは、「子どもたちに泳げる川を！」をスローガンに、水環境に関心のある個人や団体で構成され、ネットワークを通して、会員それぞれの考えや活動を広く市民や行政などに伝えながらより良い日田の水環境をつくれるよう活動しています。

環境問題は、1人や2人の努力では決して解決できません。是非、私たちの活動や思いを理解し、「NPO ひた水環境ネットワークセンター」へのご入会をお願い致します。

（個人・団体にかかわらず、入会できます。）



発 行： NPO ひた水環境ネットワークセンター

事務局：大分県日田市三本松2-2-16 日田商工会館3F（社）日田青年会議所内
TEL：0973-24-7150 FAX：0973-22-8265
Email： hita-jc @ blue.oit-net.jp



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。

